

2017年3月21日

株式会社カイカ

勤怠管理にブロックチェーン技術を適用したシステムの開発に着手

株式会社カイカ（JASDAQ 上場、証券コード「2315」、本社：東京都目黒区、代表取締役社長：牛 雨、以下、「CAICA」）はブロックチェーン技術を適用し、場所データと出退勤時間を結び付けた勤怠管理システムの開発に着手しサービス化することをお知らせいたします。

国が推し進める「働き方改革」により、各企業においては従業員の勤務時間に関して、より一層の管理が問われている中、フィンテック事業を推進するCAICAにおいては自社の保有する技術を応用した勤怠管理業務効率化の検討を進めてきました。フィンテック技術の1つであるブロックチェーンは勤怠管理システムの構築を検討する上で既に一定の完成度と信頼性を担保されていると考え、また開発及び運用コストの抑制にも期待できる仕組みであることから、ブロックチェーン技術を応用した勤怠管理システムの開発着手に至りました。

現在考えている仕組みとしてはブロックチェーンとスマートフォンのアプリケーションが連携し、場所と時間を記録していきます。記録タイミングは任意もしくは限定した区域の出入りを想定します。アプリケーションからブロックチェーンに直接記録することから記録の改竄が困難であり、ブロックチェーンはパブリックブロックチェーンであるEthereumを採用することからインフラ費用の抑制が期待でき、スマートコントラクトが実装可能なことから自律的に稼働するシステムの開発も可能と考えております。またブロックチェーン上から発行するトークンの活用も検討致します。

場所データの特定に関しては通信技術・デバイスに優位性を持つCAICAの親会社である株式会社ネクスグループ（JASDAQ 上場、証券コード「6634」、本社：岩手県花巻市、代表取締役：秋山 司、以下、「ネクスグループ」）の協力を仰いでおり、直近ではネクスグループのIoTとブロックチェーンを連携させて自律稼働する仕組みの研究に着手致します。

今回、採用するブロックチェーンにつきましては、パブリックブロックチェーンであるEthereumと致しましたが、その他のブロックチェーンを活用したソリューション・サービスの検討・開発も平行して行う予定としております。

本サービスのリリースにつきましては2017年6月にベータ版を公開する予定でおります。

以上

【ご参考】

CAICAは、40年以上にわたり金融業をはじめ製造・公共・流通等のシステム開発の実績を有しております。現在、フィンテック関連ビジネスを戦略的注力領域に掲げ、特に重要な要因としてブロックチェーン技術とAIに注目し、様々な取り組みをおこなっております。多くの金融機関向けのシステム開発実績を活かし預金口座管理におけるブロックチェーンの実証実験を完了しており、お客様のブロックチェーン実証実験サポート、ビットコイン決済にかかる開発、AI株価予想システムの開発等、着実に実績を積み上げております。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社カイカ
TEL 03-5657-3000